

まっすぐ! ▶ あなたに。  
まっすぐ! ▶ 未来へ。

# 下京ジャーナル

Shimogyo Journal

第1号 2015. June  
西山のぶまさ事務所  
〒600-8837 京都市下京区奥馬場町20番地4  
TEL: 075-754-8073 FAX: 075-754-8073  
E: n.n.massugu24@gmail.com

## 西山のぶまさ、京都市会議員として始動! さっそく5月市会で代表質問

4月30日、西山のぶまさは、京都市会議員としての一歩を踏み出しました。迎えた初の5月市会。5月27日には、公明党京都市会議員団を代表して、代表質問を実施。京都市からは、すべての質問項目に対して「(議員提案の通り)積極的に取り組む」との答弁を得ました。これからも、市民の皆様の声を市政に反映できるよう、先頭を切って、全力で活動してまいります。



### ●代表質問要旨

#### 1 “健康づくり”のための公園施設整備を

市民の皆様の“健康づくり”のきっかけとなるよう、より多くの公園に、健康遊具やウォーキングコースの設置を提案。さらに、どのような健康効果が得られるのかが一目で分かるような案内表示の設置を呼びかけました。



#### 2 障がい者の活動の場の拡大を

障がい者就労施設等に対する、市からの優先発注を積極的に推進すべきと提案。また、障がい者就労施設等で製作された品物の販売スペースとして、市の施設を活用するなど、障がい者の活動の場を拡大する取り組みを求めました。

#### 3 切れ目のない「子育て支援」の充実を

妊娠期から子育て期にわたるまで、バラバラに支援するのではなく、包括して支援することが重要。今後、「子育て世代包括支援センター」が全国展開される予定ですが、市として、さらなる子育て支援充実を訴えました。

#### 4 学生の就職活動に役立つ「消防団活動認証制度」の積極的推進を

消防団活動に取り組んだ大学生等に対して、「社会貢献に積極的である」と認証する「学生消防団活動認証制度」が今年度から始まります。学生は就職活動の際、この証明書を自己PRに使うことができるので、若者の就職支援のためにも、学生や企業にもっと積極的にPRするよう求めました。

## 経済総務委員会への所属が決定

西山のぶまさは、「経済総務委員会」に所属することになりました。同委員会は、市の総務・財政・企画・産業観光などを所管する委員会です。初めて出席した5月20日の会議で、早速、質問を実施しました。

- 各種選挙の投票所で、下足を履き替えないですむように、投票環境の改善を訴え。
- 今秋から実施される「マイナンバー制度」の準備状況などについて質問。市民の皆様への周知の促進を訴え。
- 国勢調査が本年秋に実施されることに関して、その準備状況や周知方法について質問。



※用語解説 **【マイナンバー】** 住民票を有するすべての人に「マイナンバー」と呼ばれる12桁の個人番号が指定され、本年10月以降、本人に通知されます。社会保障や納税の効率的な情報管理などに役立つ大変便利なですが、個人情報保護など行政による慎重な取り扱いが求められています。

**【国勢調査】** 5年ごとに実施される全住民を対象にした人口調査。10月1日時点における調査が実施されます。今回の調査では、初めてパソコンやスマートフォンからオンライン回答できるのが特徴です。

## まっすぐ! ▶ あなたに。 西山のぶまさの日々の活動から

### 一人ひとりとの語らいを大事に

五月晴れの爽やかな日。梅小路公園で、市民の皆様と、下京区の未来について語り合いました。

西山のぶまさが目指す「まっすぐ政治」は、「まっすぐ」あなたと向き合っ、話を聞かせていただく。そして、その声を「まっすぐ」政治に届けるというものです。事実、5月市会の代表質問や委員会で、行った質問の多くは、実際に市民の皆様から頂戴した声をもとにしています。

これからも、こうした一人ひとりとの語らいを大切に、あなたの声を「まっすぐ」市政に届けてまいります。



### 京都市消防団総合査閲<sup>さえつ</sup>に出席

5月31日、南区の京都市消防学校・屋外訓練場で開催された「京都市消防団総合査閲」に、来賓として出席しました。

下京消防団からは、永松分団が出場。全員がこの日を目指し、忙しい中、一生懸命、訓練に励んでくれました。

当日は、各分団とも訓練の成果を遺憾なく発揮。今回は、査閲史上初となる実際に水を放水しての消防訓練も実施されました。こうした努力により、小型ポンプを操作できる人が増え、京都市の防災力が強化されます。

### 京都動物愛護センターを視察

6月1日、公明党京都市会議員団11名で、南区にある「京都動物愛護センター」を視察しました。京都市は、府とともに、全国初の「動物愛護憲章」を昨年12月に制定。このセンターは、「人と動物が共生できるうおいのある豊かな社会」の実現に向けて、拠点となる重要な施設です。また、都道府県と政令市が共同して設置・運営する全国初の動物愛護・管理施設でもあり、京都府と京都市の二重行政の解消例としても注目されています。

動物を飼っている方もいない方も、身近な動物との関わりや命の大切さを学ぶことができる施設です。



## まっすぐ! ▶ 未来へ。西山のぶまさからのメッセージ

「1年生議員」の言葉通り、今の心境は、まさに就職直後の新入社員のようなです。「右も左もわからない」と言いますが、本会議場で歩いていると、他の議員と違う道順で歩いていることに気づき、相当焦りました(汗)。

しかし、新人だからこそ、今までの市政の常識を打ち破る、新しい感覚を持っていると自負しています。

また、これまでの経験が活かされると実感できる場面も多くありました。5月市会の代表質問でも、以前地方自治体で働いていた経験を十分に生かすことができました。また、今回所属が決まった経済総務委員会の仕事は、まさに私が担当していた分野でもあります。

新人だからといって、市民の皆様のご要望に応えられないというのは意味がありません。一人でも多くの皆様と「まっすぐ」向き合い、声を聞かせていただく努力は誰にも負けません。そして、即戦力として、一刻も早くベテラン議員に劣らない仕事ができるよう、日々成長してまいります決意です。



▶西山のぶまさ ホームページ <http://www.nishiyama-massugu.net/>



地域のチカラ